

令和7年度 学校自己評価中間報告

石川県立七尾特別支援学校

重点目標	具体的取組	主担当	実施状況の判断基準	判定基準	集計結果	成果・後期に向けての改善
1 授業実践力の向上 (教科指導の充実)	① 国語科「聞くこと・話すこと」領域の資質・能力向上を目指した授業改善に取り組みながら、自分の担当している他の授業にも成果をいかし授業改善に取り組む。	研究研修課	部研究や研究授業と授業整理会などを参考にした授業改善により、児童生徒の「聞くこと・話すこと」領域の資質・能力が向上したと回答した教員の割合が A 80%以上である。 B 70%以上である。 C 60%以上である。 D 60%未満である。	【達成目標 B以上】 C以下の場合は、取り組みを再検討する。	児童生徒の「聞くこと・話すこと」領域の資質・能力が「向上した」または「向上しつつある」と回答した教員の割合が 約89% 判定A	職員アンケートの結果より、児童生徒が相手に伝わりやすい話し方を意識したり、身振り手振りでの表現が増えたりする等「応答する力」「表現する意欲」「言葉以外で表現する力」が高まってきたとの回答があった。加えて、児童生徒の変化だけでなく、教員自身が児童生徒を見る視点が変化したという回答があった。これまで、見過ごされていた可能性のある児童生徒の表現を見取り、評価することで、微細な成長を捉えることができるようになってきたのではないかと考える。 後期は、研究授業に向けた授業検討会の回数を1回増やし、単元で扱う教材について検討する機会を設ける。教員が国語科の「聞くこと・話すこと」領域で、単元を構想する力を付けていくことで、より児童生徒の成長を促し、その成果を他教科の授業改善へも繋げていく。
2 地域社会との連携	① 地域に開かれた学校教育の展開を目指し、児童生徒が地域の公共施設や人材等を活用し学習する機会を計画的に設定する。	各部	地域の公共施設や人材を活用した授業を検討し、実施した回数が全校で A 45回以上である。 B 30回以上である。 C 15回以上である。 D 15回未満である。	【達成目標 B以上】 C以下の場合は、取り組みを再検討する。	地域の公共施設や人材を活用した授業を検討し、実施した回数が全校で 28回 判定C 小学部 16回 中学部 4回 (今後4回予定) 高等部 8回 (今後10回予定)	各部とも公共施設の利用や見学を実施。その他学校間交流や販売活動、清掃活動等を計画的に実施している。 人材活用については小学部では外部ボランティアを招いての読み聞かせ活動、高等部では地元企業の人事担当者からの進路講座を実施した。 各活動では本物に触れ、マナー、接客など校内で学習したことを社会で活かす機会となっており、次の校外活動を期待する児童生徒も多い。 今後は、人材活用の可能性さらに探り、地域と連携した学習活動を創造していきたい。

重点目標	具体的取組	主担当	実施状況の判断基準	判定基準	集計結果	成果・後期に向けての改善
3 安心・安全な学校づくり	① 各部で実施する防災教育において、児童生徒が理解し取り組める授業を行う。	学校安全課	防災教育の授業内容を理解し、「行動できる」と回答した児童生徒の割合、または教師の見本行動と同様の行動を行うことのできた児童生徒が A 80%以上である。 B 70%以上である。 C 60%以上である。 D 60%未満である。	【達成目標 B以上】 C以下の場合は、取り組みを再検討する。	防災教育の授業内容を理解し、「行動できる」と回答した児童生徒の割合、または教師の見本行動と同様の行動を行うことのできた児童生徒が 96% 判定A	各部で児童生徒の実態に応じた防災教育を行った。避難訓練時の児童生徒の行動についての振り返りアンケートを実施したところ、「行動できた」と回答した児童生徒の割合が96%であったことから判定をAとした。 生徒からは「いざ地震が起こったら冷静にならないといけないと思った。」「何回も避難訓練をしているのでよかったと思った。」等の意見があった。アンケートによる回答が難しい児童生徒については、教師から見た児童生徒の行動で判断した。 避難訓練の前後における学習に限らず、継続的な防災教育を行うことにより、児童生徒の理解や意識を高めていきたい。
	② 学校で実施する防災教育が、各家庭や地域で役立つものとなるように保護者に情報発信し改善を図る。		防災教育の授業内容について、その内容が「満足できるものである」回答した保護者が A 80%以上である。 B 70%以上である。 C 60%以上である。 D 60%未満である。	【達成目標 B以上】 C以下の場合は、取り組みを再検討する。	防災教育の取組みに関するアンケートで、防災教育の授業内容が「満足できるものである」と回答した保護者が 100% 判定A	保護者に防災教育の取組みに関するアンケートを実施し、学校は防災教育の授業内容について発信していると感じたと回答した保護者のうち、防災教育の授業内容が「満足できるものである」と回答した保護者が100%であったことから判定をAとした。良かった内容としては、様々な災害を想定した複数回の訓練の実施や非常食の試食などが挙げられた。 学校は防災教育の授業内容について発信しているとは感じないと回答もあったことから、今後も連絡帳や学年だより、ホームページ等で積極的に発信を行い、家庭や地域でも活用できる防災教育となるよう、連携していく必要がある。